

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~7日	4月 ~14日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	3	7
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	23	9
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	2	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	1	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	2	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	1	0

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第15週(4月8日~4月14日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	1	結核	1			1				
三類	0	発生なし	0							
四類	1	A型肝炎	1					1		
五類	14	アメーバ赤痢	1		1					
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2			1	1			
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3					1	1	1
		ジアルジア症	1					1		
		播種性クリプトコックス症	1						1	
梅毒	6		1				1		4	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 RSウイルス感染症

定点当たり2.43人の報告があり、前週の約2.1倍と大きく増加しました。生後6カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、注意が必要です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒、手洗いや咳エチケットの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

2 インフルエンザ

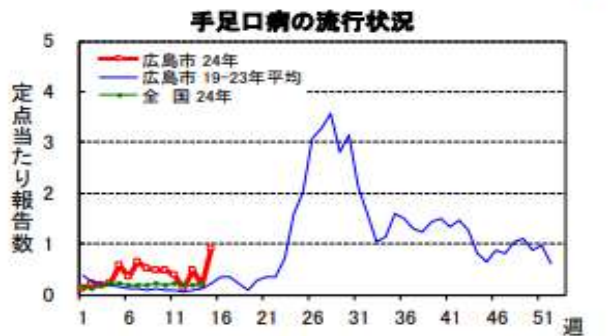
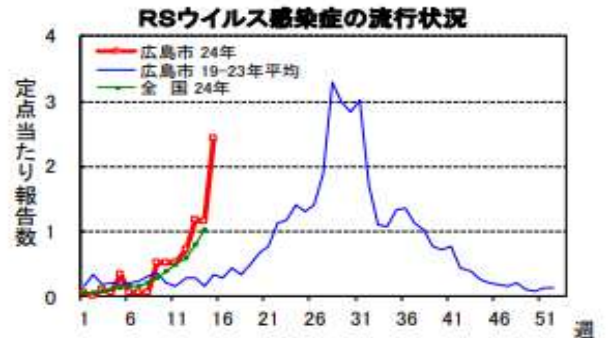
定点当たり1.32人の報告があり、減少が続いています。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

3 手足口病

定点当たり0.90人の報告があり、前週と比べて大きく増加しました。例年夏季に増える傾向があり、乳幼児が集団で生活する保育園や幼稚園などでは、注意が必要です。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.68人の報告があり、前週と比べて減少しました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	45	1.32	1.42	↓	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.05	0.06	
	新型コロナ(COVID-19)	57	1.68		◇		流行性耳下腺炎	1	0.05	0.02	
小児科	RSウイルス感染症	51	2.43	0.32	↑	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	8	0.38	0.18			流行性角結膜炎	9	1.13	0.43	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	2.76	1.07	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	88	4.19	5.13	◇		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	4	0.19	0.15			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.08	
	手足口病	19	0.90	0.23	↑		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.11	
	突発性発しん	7	0.33	0.23							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇔ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	A型肝炎	1	2	50歳代・市外・推定感染地域: 国外
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	8	40歳代
5	ジアルジア症	1	2	40歳代
5	梅毒	1	39	20歳代